

令和2年度第3回社会教育委員会議会議録

開催日	令和3年6月24日(木)	開会時間	10時20分			
会場	市役所6階 602会議室	閉会時間	11時40分			
委員の出欠状況	原 浩 明	出	片 山 義 久	出	◎久 米 隼	出
	佐 野 一 機	出	高 田 陽 子	出	関 口 泰 典	出
	柳 下 和 弘	出	宇 部 章 子	出	岡 野 琳 恵	出
	花 岡 理 恵 子	欠	伊 藤 芳 夫	出		
	○村 山 喜 三 江	出	南 條 有 希 子	出		
	小見山 映 二	出	山 崎 尚 子	出	◎議長 ○副議長	
傍聴者	なし					
事務局	【教育委員会】 大久保教育長、寄口教育部長 【生涯学習課】 茂呂課長、鈴木課長補佐、山本主査、田谷社会教育指導員、西 生涯学習推進員 【スポーツ青少年課】 高橋課長					
議 題	(1) 令和2年度事業報告について(資料2-1) ア 生涯学習事業について イ 文化財保護事業について ウ スポーツ振興事業について エ 青少年担当事業について (2) 令和3年度和光市教育行政アクションプランについて(資料1) (3) 令和3年度事業計画について(資料2-2) ア 生涯学習事業について イ 文化財保護事業について ウ スポーツ振興事業について エ 青少年担当事業について (4) 令和3年度社会教育関係団体への補助金交付案について(資料3) (5) 社会教育推進に関する意見交換について(資料4) テーマ「社会教育推進に期待すること」					

1 開会

2 あいさつ

○大久保教育長

こんにちは。ご多用にもかかわらず、令和2年度第3回和光市社会教育委員会議にご出席いただきまして、ありがとうございます。

6月20日まで発令されておりました10都道府県への緊急事態宣言は、沖縄県を除いて解

除となりましたが、新たにまん延防止重点措置が発令されております。埼玉県内にも発令されておりましたが、これまで該当していた和光市は、今回解除されております。しかしながら、毎日の報道を耳にいたしますと心穏やかではられない状況でもあります。おそらく、みなさんも同じ思いをされていることと存じます。昨日あたりも東京では感染が拡大しております。新たな変異株の感染拡大が報じられておりますので、今後も、感染防止策に万全を期していただければと思っております。

本日は、限られた時間ではありましたが、広沢複合施設の視察を計画させていただきました。和光市の児童発達支援センターは、障害のある子どもに対して、日常生活における基本的な動作の指導、知識、技能の付与や集団生活への適応訓練、その他の便宜を提供する施設として設置をされております。

また、幼保連携型の認定こども園「和光なかよしこども園」は、子ども・子育て支援新制度の取組として、就学前の教育・保育を一体化して受けられるような、正に新たな選択肢となる施設であるわけです。幼稚園と保育所の両方のよさを持った施設ととらえてもいいのではないかと思っております。

保健センターも新たに設置されましたので、今後、これらの各施設の取組の充実が期待されるところであります。

この後の会議では、令和2年度の社会教育事業に係る実績報告と和光市教育振興基本計画に基づく令和3年度の和光市教育行政アクションプランに係る事業計画について、担当から説明させていただきます。また、その後の協議におきましては、社会教育委員としての2年間の任期が6月末で終了となりますので、これまでを振り返っていただき、ご意見を頂戴いたします。今後の生涯学習事業に反映させてまいりたいと思っておりますので、ぜひ、忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 委員、職員自己紹介

- ・和光市立白子小学校長 佐野 一機 委員
- ・教育委員会事務局 寄口 昌宏 教育部長

○事務局(生涯学習課長補佐)

市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開、傍聴者の紹介、欠席者報告、資料の確認と説明

4 議題

○議長(議事進行)

みなさん、こんにちは。本日はご多用のところ、お集まりいただきありがとうございます。また、みなさんと一緒に、児童発達支援センター、和光なかよしこども園、保健センターを視察いたしました。前回、この会議で、委員から要望が出されておりました。今

般の社会情勢を踏まえると大変ご苦勞をおかけしたことと思いますが、貴重な機会をいただきましたことを感謝いたします。また、温かく受入れてくださった施設の皆様に厚く御礼を申し上げます。

さて、本日の会議は、不開示情報の審議を予定しておりませんので、公開とします。それでは、議題に移ります。議題がスムーズに進行するよう委員の皆様のご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

議題(1)～(3)については、関連性がありますので、まとめて事務局から説明をお願いします。

○事務局

議題(1)令和2年度事業報告について(資料2-1、プレゼン資料使用)

ア 生涯学習事業について(生涯学習課長)

17事業計画のうち5事業がコロナの影響で中止、12事業を実施

イ 文化財保護事業について(生涯学習課長)

10事業計画のうち1事業がコロナの影響で中止、9事業を実施

ウ スポーツ振興事業について(スポーツ青少年課長)

17事業計画のうち9事業がコロナの影響で中止、8事業を実施

エ 青少年担当事業について(スポーツ青少年課長)

20事業計画のうち15事業がコロナの影響で中止、5事業を実施

議題(2) 令和3年度和光市教育行政アクションプランについて(資料1)

- ・ 今年度から、市内を北、中央、南と3つの生活圏域に分け、同一指定管理者が圏域内の学童クラブ、児童館、わこっこクラブを一体的に運営しております。子ども教室は、わこっこクラブに包含し、イベント型の体験教室として6月より実施しております。
- ・ 青少年育成関連団体の担い手不足が懸念されており、組織率の低下が見られます。事業連携の促進や他事例の調査、HP等の各種媒体を活用して情報提供し、組織の維持継続を図ってまいります。
- ・ 総合体育館・スポーツアイランド・市民プール施設の管理運営には、指定管理者制度を導入による利用促進を進めます。総合体育館は既に指定管理業務を開始しておりますが、本年度末に指定管理期間が終了するため更新手続きに着手いたします。
- ・ スポーツアイランドは、6月市議会にて指定管理者の指定に対し議決をいただきましたので、本協定締結と業務引継作業など、10月1日の指定管理業務開始の手続きを進めてまいります。
- ・ 市民プールについても、6月市議会にて指定管理者の指定に対し議決をいただきましたので、12月4日の指定管理業務開始の手続きを進め、施設設置管理条例を施行してまいります。

議題(3) 令和3年度事業計画について(資料2-2)

ア 生涯学習事業について(生涯学習課長)

わこうっこクラブは、本年度、全小学校会場で指定管理者による運営となっております。年間の開催回数は2000回を超えると見込んでおります。

イ 文化財保護事業について(生涯学習課長)

午王山遺跡の国史跡指定を踏まえて、地権者からの指定地の有償譲渡、同意を得て追加指定の意見具申を進めてまいります。

また、引き続き、午王山遺跡保存活用計画策定委員会による検討をもとに和光市午王山遺跡保存活用計画を策定してまいります。

ウ スポーツ振興事業について(スポーツ青少年課長)

合計12事業で、例年と同様の事業を計画しております。

エ 青少年担当事業について(スポーツ青少年課長)

合計13事業で、例年と同様の事業を計画しております。体育協会に対する協働型委託事業は平成27年度から実施してまいりましたが、5か年の実施とコロナの影響による中止に加え、今後における施設運営と費用の見直しを行うため、中止しております。

○議長(議事進行)

事務局の説明が終わりました。ご質問等ありましたら、お願いします。

昨年度は、なかなか難しい社会情勢のなかで取組んでいただきました。今年度も感染症対策との両立を図りながら、安全を第一に工夫しながら努めているということがよく伝わりました。引き続き、よろしくをお願いします。

○議長(議事進行)

続きまして、議題(4)に進みます。議題(4)令和2年度社会教育団体への補助金交付案について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

議題(4)「令和3年度社会教育関係団体への補助金交付案」について資料3に基づいて生涯学習課長、スポーツ青少年課長より説明

○議長(議事進行)

ただ今、事務局から説明が終わりました。委員のみなさんから質問等ありますか。

○南條委員

コロナ禍で、さまざまな事業が中止となったことをお聞きしました。今年度の各団体への補助金額が前年度と同額となっております。前年度、行事等で使用されなかった

補助金については、適正に管理、報告されているのでしょうか。

○事務局（スポーツ青少年課長）

スポーツ事業について、ご報告いたします。補助金等を活用する事業が中止になった場合は、緊急措置として減額補正を行い、市に返還していただいております。令和3年度につきましては、各団体の事業を実施予定として見込んでおりますので、昨年度同額の補助金額のご承認をお願いしております。

○事務局（生涯学習課長）

生涯学習課におきましても、対象団体は5つございます。一部減額をさせていただいた団体、全額代替事業で執行していただいた団体がございます。令和3年度につきましては、予定通り事業を進めていきたいという計画案をご提出いただいておりますので、昨年度同額の補助金額のご承認をお願いしております。

○議長（議事進行）

事務局から説明について、よろしいでしょうか。

○南條委員

はい。ありがとうございます。

○議長（議事進行）

ほかにございますか。

では、事務局には、補助金に係る事務を進めていただきますようお願いします。

次に、議題(6)「社会教育推進に関する意見交換」について事務局から説明をお願いします。

○事務局（生涯学習課長）

本日の「協議テーマ」についてご説明申し上げます。本日のテーマは、「社会教育推進に期待すること」といたしております。

この会議をもちまして、みなさまの2年間の任期中の会議が終了いたしますので、今回は、社会教育委員としての2年間で振り返っていただき、今後の市の社会教育推進に期待することを皆さまからお伺いし、次期会議につなげてまいりたいと考えております。

本日は、さきほど、和光市教育行政アクションプランに基づいた令和3年度の事業計画をご説明申し上げます。委員のみなさまには、和光市の今後の生涯学習の方向性についてご意見をいただき、生涯学習事業への指針とさせていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（議事進行）

ただ今、説明が終わりました。ご質問がございましたら挙手をお願いします。本日ももちまして最後の協議ということになりますので、社会教育委員としての2年間で振り返っていただき、今後の市の社会教育推進に期待すること、もしくはご意見、ご感想等をみなさまから伺ってまいります。

また、この会議前には施設等の視察等もありましたので、それを踏まえてお話しただいても結構です。短い時間ではありますが、熱い思いを語っていただきたいと思います。

○片山委員

コロナ禍で、昨年は事業がほとんどできませんでした。PTA・保護者組織は、担い手が保護者です。児童生徒が卒業してしまうと、担い手ではなくなるという特質があります。昨年は、私が役員を務める小学校でも役員選出ができませんでした。昨年、事業を実施できなかったのも、その引継ぎがうまくできなくなっています。今年も同じような状況が続くと、ノウハウを知っている方がだんだんいなくなってしまう。今後、今までと同じように事業ができるのか心配をしています。

新市長が誕生し、市役所でもデジタル化、DX化が進められるという話も聞いています。コロナ禍が収束しても、以前と同じ事業をするだけではなく、もっとデジタルを活用して進めていくとよいでしょう。市内小学校4年生の浄水場見学が中止となりましたが、上下水道部では、「2021和光水道事業 水道週刊PR 水がとどくまで」という映像資料をつくり、和光市YouTubeチャンネルで配信しています。とてもよい取組です。今後も、活用していただきたいと思います。

○高田委員

3年ほど前からこの会議に参加しています。最初の会議では、「地域社会へ参加できない人にどのようにアプローチをしていったらよいか」というテーマについて話し合いました。すごいお話をする会議だと感じました。

ただ、この会議での意見が、どのくらい実現されているのかという点には疑問が残ります。困っているお母さんたちが家のなかで一人で考え込まなくても済むような環境をつくる具体策を企画する、実施することが大切でしょう。難しいこともあるとは思いますが、ひとつひとつ取組んでいってほしいものです。

所属団体の活動を振り返ってみると、構成団体数が少しずつ減っていることが大きな課題となっています。今後、事務局の方とも相談しながら、団体活動を盛り上げていくよう務めていきます。

○宇部委員

2年間、委員を務めました。この1年、いろいろな会議が中止となったこともあり、

あつという間に今日を迎えたような気がします。私ができたことといえば、市民大学や市政学習おとどけ講座のチラシを関係団体で配布して、説明を加えることぐらいでした。社会情勢もありましたので、それ以上に積極的に関わることはできませんでした。2年間の振り返りをしたときの反省にもなっています。

本日は、市民大学2021特別講座のチラシをいただきました。7月と9月に開催されますが、社会教育委員会議としても現地の見学ができるとよいと思います。

○伊藤委員

自治会連合会は、各地域で安心安全なまちづくりを進めてきています。去年は、コロナ禍で地域の行事がほとんどできませんでした。本年も、行政指導で自粛が求められています。

和光市の防犯マップ等にも記載されていますが、下校時の問題が多いように感じます。積極的に地域と関わるためにも、各地域で分担して、小学校、中学校の通学路を中心に見守り活動や清掃活動を続けてきました。なかなか思うようにいかないこともあります。3年間活動を続けてきています。子ども達にも最初は戸惑いがあったようですが、今では、各地域で声をかけている担当者にあいさつを返してくれるようになってきました。これからも、子ども達を地域で見守っていきたいと思っています。

○南條委員

子育て世代の代表として参加しています。アクションプランにもありますが、地元への愛着を育てるという意味でも、子育て世代への支援やアプローチ、子どもへのサポート等が、コロナ禍でいっそう大事になっていると感じます。各事業に関わるみなさんが、たとえ代替事業であっても、何とかして子育て世代や子ども達に機会を提供しようと知恵を絞って努力されています。

本日、視察した和光なかよしこども園でも、お泊り保育はできないけれども、何とか夏まつりを実施して、子ども達にいろいろな体験をさせようとしたり、思い出づくりについてアイデアを出しあったりして、参加者に達成感を味わわせるために何とかでも機会を確保していくという気概を感じました。大人が、一生懸命知恵をしぼって子ども達の経験を保障していく、子ども達が頑張ることができる場をつくっていく姿勢が本当に大事なんだと思いました。

スポーツ事業等も難しいことも多いと思いますが、何とか機会を確保する方向でお考えいただきたい。引き続き、私もみなさんと共に頑張っていきたいと思っています。

○山崎委員

社会教育委員会議に参加することで、和光市の取組を再確認することができました。いろいろな団体から選出されている方からお話を伺い、和光市の取組はみなさんの努力の賜物であると実感しました。私も、学生時代、青少年相談員として活動していま

した。その頃の行事も引継がれていて、今日もなお、多くの参加者がいます。和光市の特色になっていますので、改めて継続は大事だと感じました。

去年は、コロナの影響を受けて、例年通り事業ができませんでした。今年度の事業も、既に中止となっているものがあります。子ども達も市民も参加の機会がなくなると、各事業のよさを実感できなくなってしまいます。和光市の将来都市像である「みんなをつなぐワクワクふるさと和光」という気持ちを持ってなくなってしまうのではと心配しています。しばらく、コロナに翻弄される社会が続くように思いますので、新しい事業の模索も必要でしょう。

コロナ禍ではありますが、計画は立てましたができませんでしたではなく、各団体、組織等でネットワークを生かしながら、事業が実施できるように臨機応変に取り組んでいただきたいと思います。

○関口委員

和光市には市民参加条例があります。この条例に基づいて、私も市民のひとりとして、これまで、たくさんの審議会等に参加してきました。市の第四次総合振興計画「みんなでつくる快適環境都市わこう」に係る審議会でも、図書館運営や文化財保護、市の文化振興等について提言していきました。

会議の場では、最新の情報を踏まえて話し合い、提言することができます。一方で、この情報や提言をいかに広めていくかということも委員の役割のひとつだと思っています。

市の職員の方々と手をつなぎ、情報を共有して、自分でも何かできないか、形あるものとして示し、市民の方々にお伝えでないかとの思いで、今日まで取り組んできました。本日は、この取組のひとつとして、「あの日の清水かつら」のパンフレットをお手元にご用意しております。ご覧いただければ幸いです。また、「日本の歌で結ぶ『和』のコンサート」のチラシもお持ちしました。これからも、このような取組を続けていきたいと思っています。

○岡野委員

短い間でしたが、社会教育委員として、貴重な経験をさせていただきました。コロナ禍で、事業開催が難しい期間だったと思います。私は、娘の学校でPTAの役員をしていました。在学中役員をした者は、2年間、後援会員として参加する規定があります。PTA総会等が中止となったり、学校行事でも文化祭や体育祭が中止になってしまったので、役員の引継ぎができなくなることが、最近課題となっています。現役員からアドバイスを求められることもあり、この状況は、これからも続くことが予想されます。

一方、デジタル化はかなり進んできました。これまで、毎週、毎月のようにあった会議に参加しなければなりませんでした。オンラインで進めることにより、かなり

役員の負担が減りつつあります。かなり効率化が進められていると感じています。

社会教育委員としての経験を生かして、また、何か機会にお役に立てればと思っています。特に、この会議で初めて知った「わこう市政学習おとどけ講座」は、社会情勢が落ち着いたら、身近な方々に声をかけて活用していきたいと思っています。

○原 委員

和光市が、これだけの事業を次から次へと実施していることは素晴らしいことだと思います。特に、昨年は、コロナ禍にも関わらず工夫して事業を進めているよう思えます。今年度の事業計画をみても、文教都市という名に相応しい取組ではないでしょうか。

最近見た Web ページには、和光市が「首都圏の『穴場だと思っ街（駅）』」ランキングで2位となっていました。数日前に見たものですから、インパクトが強いものでした。いろいろな事業を広げていくことは大事ですが、コロナ禍では、ある意味、取捨選択できる部分があったのではないのでしょうか。

デジタル化が進んだことによって、異なったアプローチもずいぶん開けてきました。職務でも Web サービスを利用する機会が増えました。オンラインを活用した社会教育の推進方策が今後、次々と取り上げられることでしょうか。この点についても深めていけるとよいでしょう。

○佐野委員

昨年度、白子小学校では、わこうっこクラブが中止されていましたが、本年度は、4月13日より開催しています。毎日、20名ほどの児童が利用しています。会場や校庭からは、子ども達の楽しそうな声が聞かれますし、笑顔を見ることもできます。現在、放課後児童の居場所づくりの面や青少年健全育成の面、そしてスポーツ振興の面でも、学校だけの力で子ども達を育てていくということは難しい時代となっています。ぜひ、地域の方や行政と連携を深めて、子ども達の健全育成に取り組んでいきたいと思っています。

○柳下委員

会議では、いろいろなお話を聞かせていただきました。私が、子どもの頃参加した事業もいくつかありましたが、改めて生涯学習課やスポーツ青少年課では、多くの事業を計画実施していて、関係団体のみなさんが運営に携わり、進められていることがよくわかりました。コロナ禍でご苦勞も多いことと思いますが、引き続き多くの方々のお力添えをいただき、今後も事業の継続をお願いします。

これからは、事業に関しても、多様性、多様化という部分がかなりクローズアップされてくるのではないのでしょうか。デリケートな部分もありますが、障害児教育、虐待に関する教育、LGBTについて等、社会教育のひとつとして推進していくとよいと

思います。

地域で子ども達を育て、大人は地域と共に成長できるような和光市であってほしいし、そうあるように私も努めていきたいと思っています。

○小見山委員

ボーイスカウト団では、よき市民になることを目標としています。市のおまつりの手伝い、道路清掃等の奉仕活動やさまざまなボランティア活動に取り組んできましたが、なかなか難しい状況となっています。キャンプ等を通じて、訓練も進めてきましたが、現在は一旦停止の状態です。コロナ禍でも、可能な限り活動してきましたので、市に対して貢献できたと自負しています。

高齢になると、勉強にも興味がわいてこない、何かするにも気概が持てないというような方もいらっしゃいます。コロナ禍で、外に出ることさえ億劫であるという話もお聞きします。市の事業である市民大学や市政学習おとどけ講座について、私もいろいろな場面で働きかけ、開催に向けて努力してきましたが、実現には至りませんでした。うまく協力ができず、本当に残念でなりません。担当課が、事業の充実を考え、真摯に取り組んでいることが感じられました。

○村山委員

体育協会の事業も、ほとんど中止になりました。一昨日、市民体育祭もこのような社会情勢では開催は難しいだろうというお話をいただきましたが、時間をいただき、検討させていただくこととしました。

プログラム検討委員長という役割を仰せつかっていますので、どのような内容であれば開催が可能なのか、何か出来るものはないのか、会員の知恵を絞って前向きに考えてみたいと思います。

社会教育は、学校の教育課程として行われる教育活動を除く、体育及びレクリエーションの活動を含む組織的な教育活動ですので、その範囲も大変広いものとなっています。会議での話し合いを生かして、どの席でどのように説明するか、どのような場面で広げていけるのかと考えた時に、なかなかうまくできなかった自分を恥ずかしく思っています。

今年度は、このような視点で話し合いましょうという目標をしっかりとって、次期会議は進めていけるとよいでしょう。みなさんと一緒に、同じ方向を向いて、社会教育推進を図っていききたいと思います。

○議長

ありがとうございました。最後に2点、みなさんにお伝えします。

まず、1点目は、この委員会の意義について、発言したことがどのように生かされていくのかということです。本日の資料4をご覧ください。時間をとってふれること

はできませんでしたが、以前、「和光市政学習おとどけ講座・市民大学を充実させるためには」というテーマでご意見をいただいたことがありました。ご意見を事業に反映させるために取組んでいることが資料にまとめられています。これは一例ですし、意見が反映されることは確かに少ないことかもしれません。しかし、社会教育委員会議は、歴史ある会議で、過去の会議録を見ても、委員の提言は脈々と受け継がれ、社会教育の指針となり、施策に反映されてきたといっても過言ではないでしょう。今後とも、ご協力をいただけるようお願いいたします。

2点目は、先ほどいただいたみなさまのご意見についてです。お聞きしていて嬉しくなりました。私も少し長く委員を務めておりますが、当初は、市に対して意見を申す雰囲気も感じられました。しかし、特に本日の会議では、みんなで和光をよくしていこう、社会教育を盛り上げていこう、という姿勢が感じられました。みんなと一緒に頑張っていきましょう、コロナ禍でもなんとか工夫していきましょうという発言もありました。社会教育という分野は、むしろ市民が主体となって進めていくべきだと思っています。2年間の任期は終わりますが、和光市を盛り上げていく仲間ということにはかわりません。ぜひ、一緒に、これからも取組んでいきたいと思っております。

○議長（議事進行）

本日は、社会教育委員としての2年間を振り返っていただき、ご意見やご感想をお聞かせいただきました。ありがとうございます。

また、コロナ禍でも、着実に社会教育、生涯学習に係る事業が進められていることや、これまでの経験が事業計画に反映されていることを確認することもできました。

それぞれの団体、組織におかれましても、今後とも、工夫しながら、活動の充実を図り、和光市の社会教育の発展にお力を尽くしていただくようお願いいたします。

本日の会議の議題は以上になりますので、これで議長の席をおりることといたします。本日は、みなさまとの最後の会議となりました。2年に渡り、みなさまにはご協力いただき、ありがとうございます。

○事務局（生涯学習課課長補佐）

本日は、ご意見等を頂きまして誠にありがとうございます。本日の会議の中で皆様からいただきましたご意見につきましては、今後の社会教育関連事業の推進に反映できるよう努力して参りたいと思っております。

この2年間、さまざまなご意見をいただきまして、ありがとうございました。7月より、新委員のみなさまと、社会教育会議を進めてまいります。今後とも、さまざまなお立場から、市の社会教育充実にお力添えいただきますようお願い申し上げます。この会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。